2016年 電子情報通信学会ソサイエティ大会 TI-1-3 パーソナルコンピューティングの現在・過去・未来

私の関わったパソコンの歴史と 未来への課題

2016年9月20日

西 和彦 nishi@nishi.org

私の原点

• アマチュア無線RTTY



• BASIC計算機



初期のミニコン



最初のマイクロ



• インターネットが出来たのはアマチュア無線のおかげ

Commodore PET2001 Tandy TRS-80 Apple Computer Apple 2







チャック・ペドル ジョン・シャーリー スティーブ・ウォズニアック

- BASIC言語
- スクリーンエディタ
- マルチI/Oスロット
- グラフィックス

ビル・ゲイツと西和彦



MICROSOFT

マイクロソフトBASICを新しい機械に乗せたい NEC PC8001 1979



<u>次は ビジネス 1980</u> 次は ポータブル 1982 次は ゲームと教育 1983

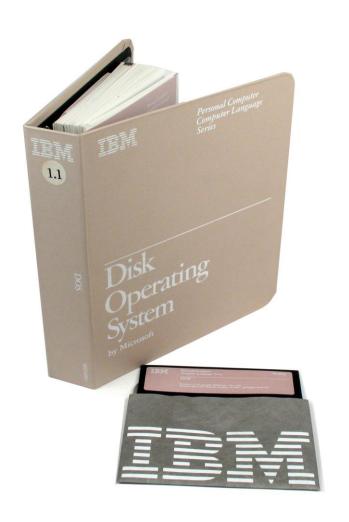


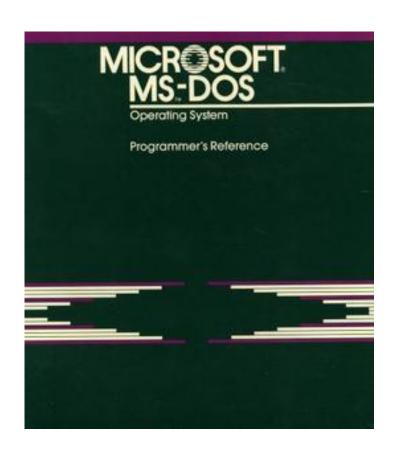






16ビットのOSを作ろう





次は16ビットのパソコンを

デスクトップ 1981

ポータブル 1985







CGA互換液晶ドライバー

XeroxにEthernetの特許をオープンにしてもらう TCP-IPをEthernetに乗せる

- Xeroxレーザープリンター、
- Intel 半導体、
- ・ DEC ミニコンサーバー、
- (Microsoft)

のパートナーシップ



• DARPAのTCP-IPをLANにも使おう

Windows & CD-ROM

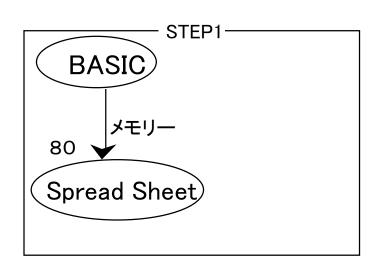
• NECPC100



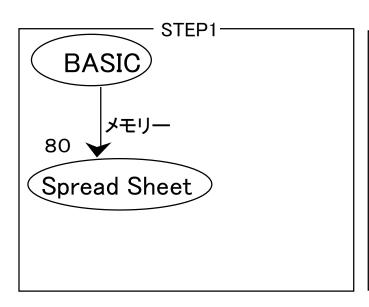
FUJITU FM Towns

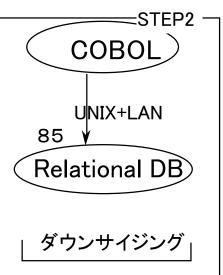


これでパソコンの機能と形は完成した



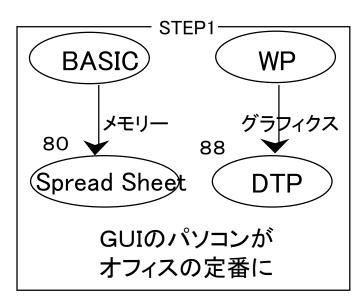
80年代のパソコンブームは、 表計算であった

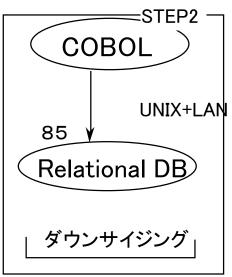




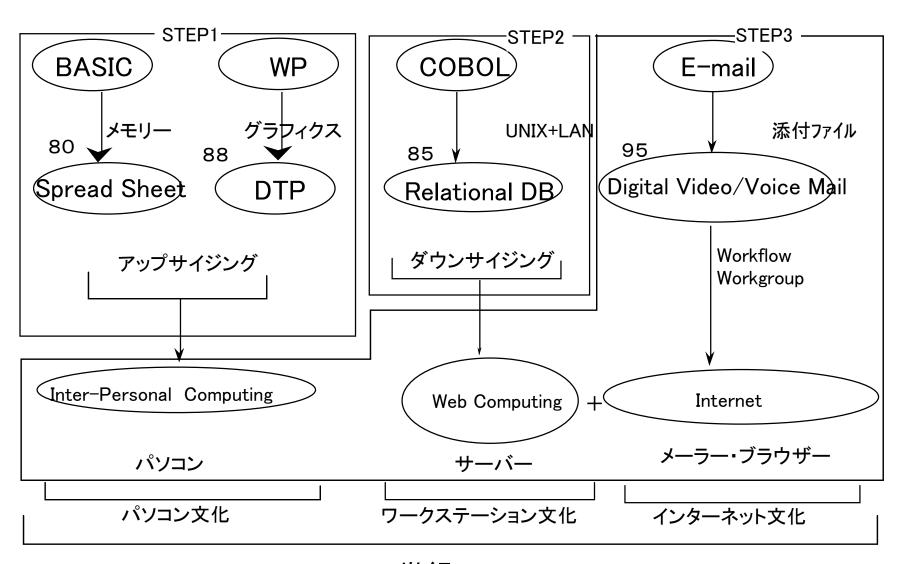
85年にワークステーションのサーバーが メインフレームを置き換え始めた

COBOLよ、さようなら データベースよ、こんにちは





88年にMACにレーザープリンターとDTPソフトが流行に



21世紀のテーマ すべてをインターネットでつなぐ

マイクロソフトで新規事業を担当した

• WINDOWS 1. 0 MOUSEを作ろう

作った

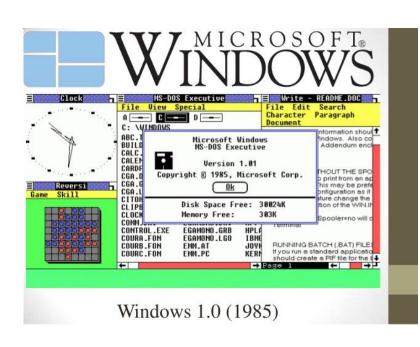
出版社をやるべきだ

マイクロソフトプレス

• CD-ROMをやるべきだ CDROM会議

・半導体をやるべきだ ダメ!

グラフィックス ユーザー インターフェイスと 安価なポインティングデバイスを作った



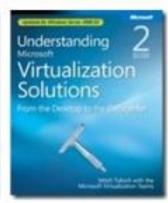


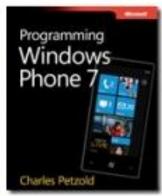
マイクロソフト プレスを始める



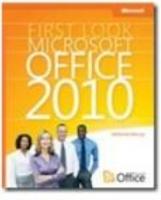


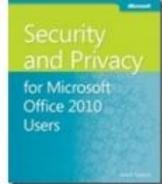


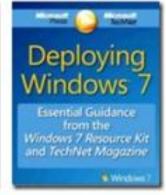






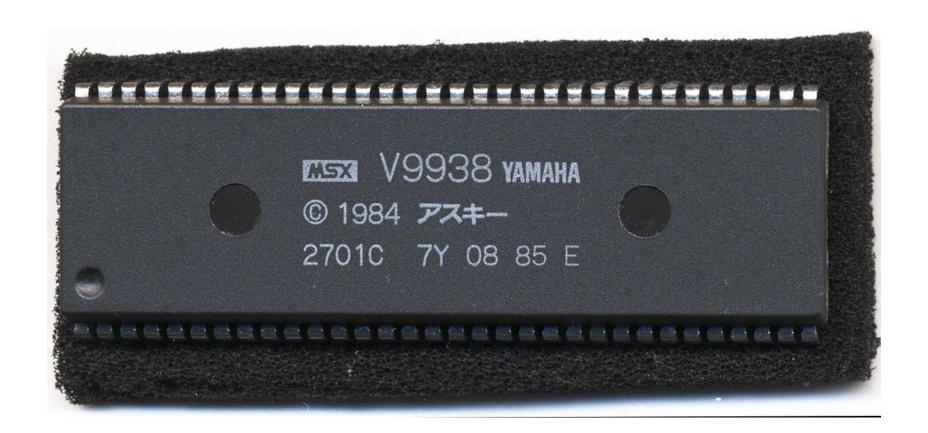








半導体を作った



日本に帰ってきて、次に考えたことは

クローンOS DR-DOS

早いCPU グラフィックスのため

・ビデオの拡張 MPEG標準化活動の発案

オーディオの拡張 デジタルオーディオ

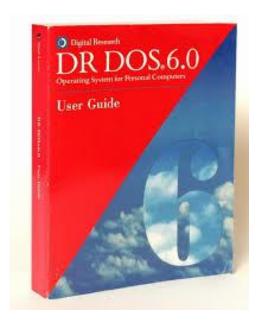
インターネット メディアとしてのパソコン

• スパコン 64ビットPCクラスター

携帯電話パソコン スマホに

デジタルリサーチでDRーDOS

- 出資してMSDOSクローンを開発
- ・ノベルに買収される LANと一体化



• GUIはビルゲイツと和解したので中止

16、32、64ビットのCPU

- 嶋正利とCPUの会社を 16、32ビット
- VM Technology



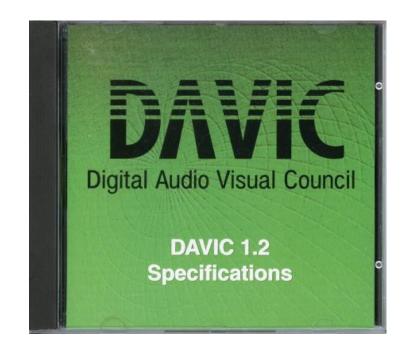
- アメリカでCPUの会社を 32、64ビット
- Nexgen Microsystems
- AMDと合併
 - Atheron, Opteron/C



DAVA, DAPA, DAVIC, ISO MPEG

• CDに74分のビデオを入れたい





パソコン(ソフト、ハード)を 作ることだけでなく

インターネットも含めて 「メディアシステム論」 としてとりくむようにした

「メディアマップ」の提唱 そうしたら、未来が見えた 博士論文に

携帯電話

• タッチスクリーンの携帯を開発しようと・・・



スーパーコンピューター 1993

• 1テラflopsの64ビットパソコンクラスター



パソコンオーディオの拡張 1998

• 高品位デジタルアナログコンバーター



西が1995年にビル・ゲイツとの和解時に提案した マイクロソフトの次期戦略

PERSONAL (every pocket) OFFICE

HOME (every desktop) (every living room)

Digital Cell Phone

Personal Computer

Digital Television

Windows CE or CP?

Windows 9X

Windows X

IMT2000+a

PC

X-BOX

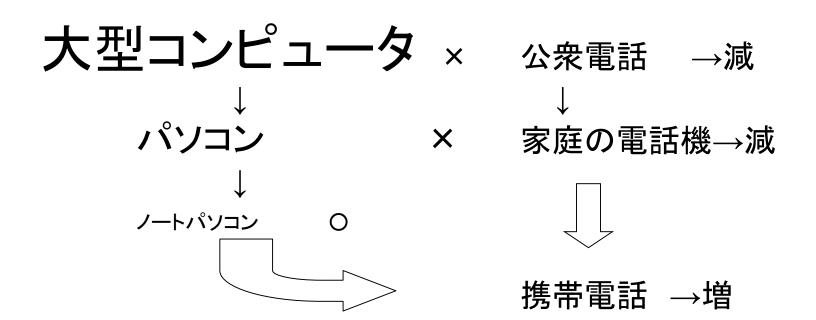
これにカーナビが加わる

最初のPAD: Thinkpad T41 2005



パソコンが ネット端末に なった

大きなハードは鴻する



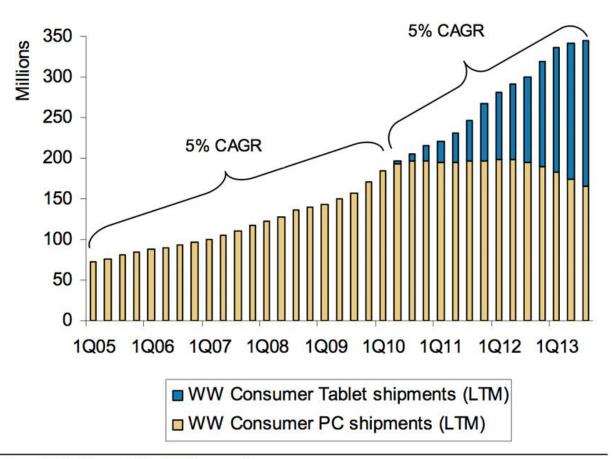
2013年 12月 PC vs SmartPhone

Webのアクセスは逆転した





Tablet introduction reduced PC growth but overall pace of computing growth remained steady



Source: IDC, Morgan Stanley Research

BUSINESS INSIDER



パソコンと携帯電話の一体化

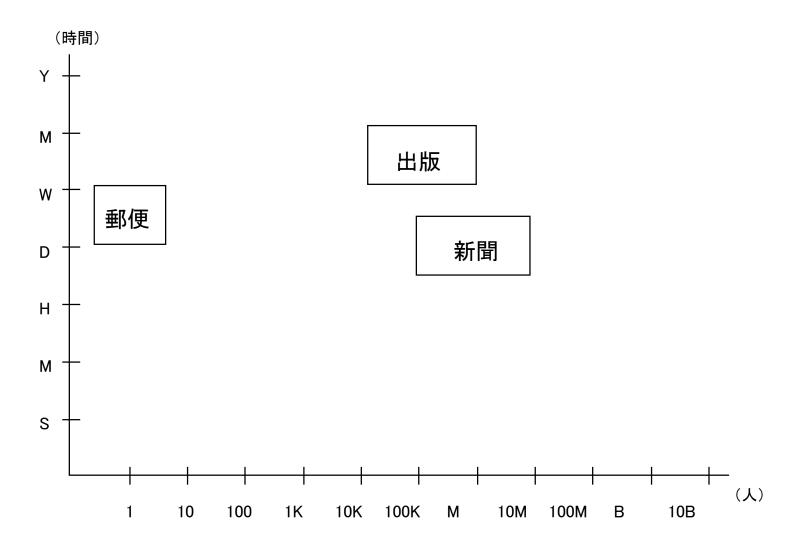
携帯電話が進化して、 パソコンの機能を吸収する

メディアマップとは

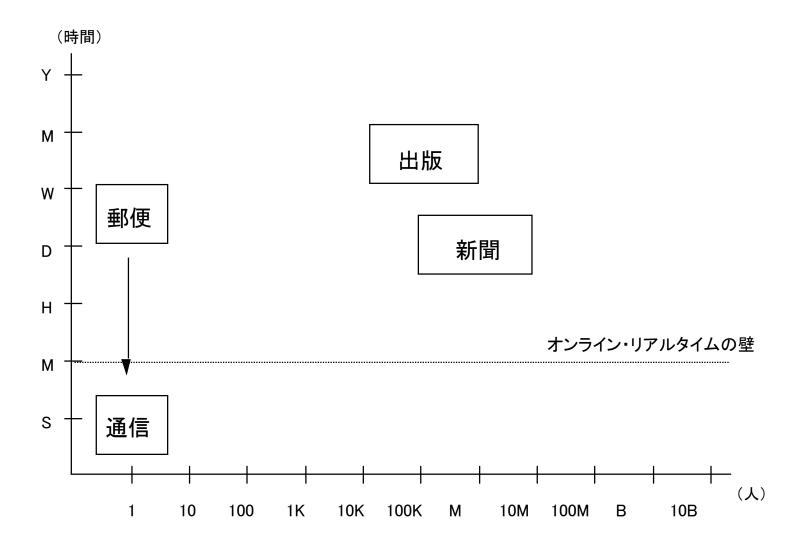
- 時間軸 対数軸
- ・ 受信者の数 対数軸

- インターネットの出現を予測
- デジタル電話を予測
- デジタルテレビを予測
- ・メディアのパケット統合化を予測 2000年

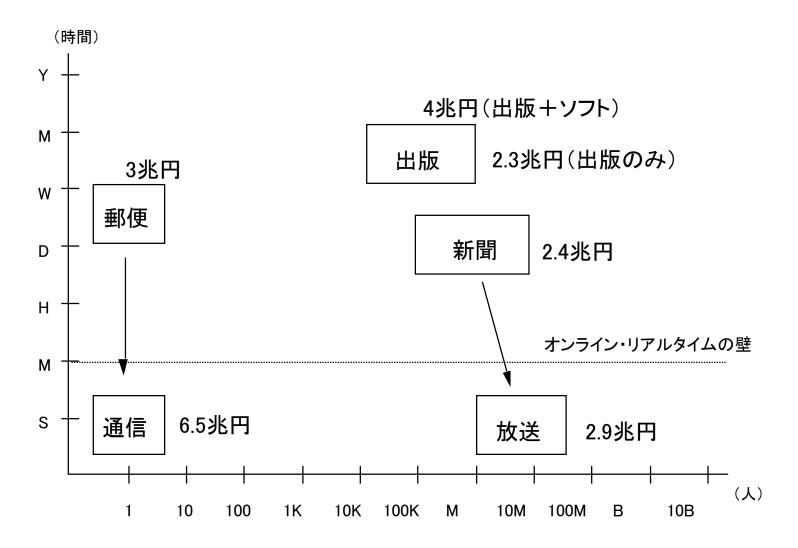
20世紀初めの3大メディア



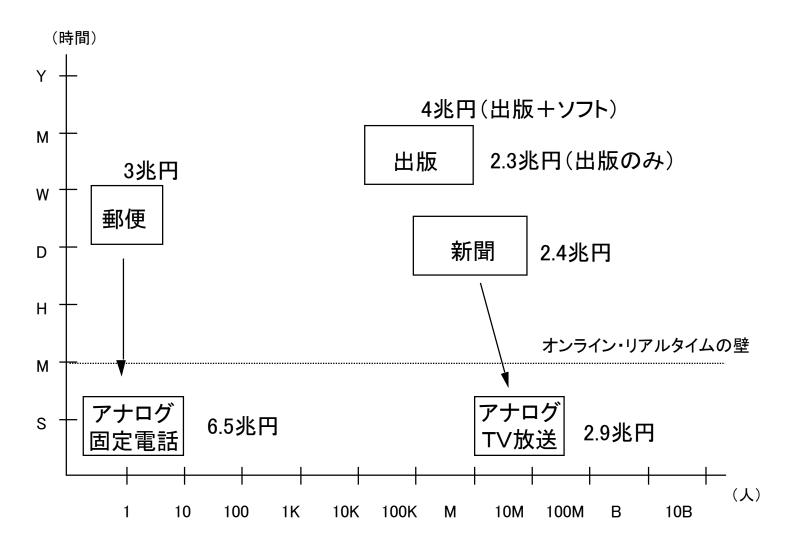
20世紀初めの4大メディア



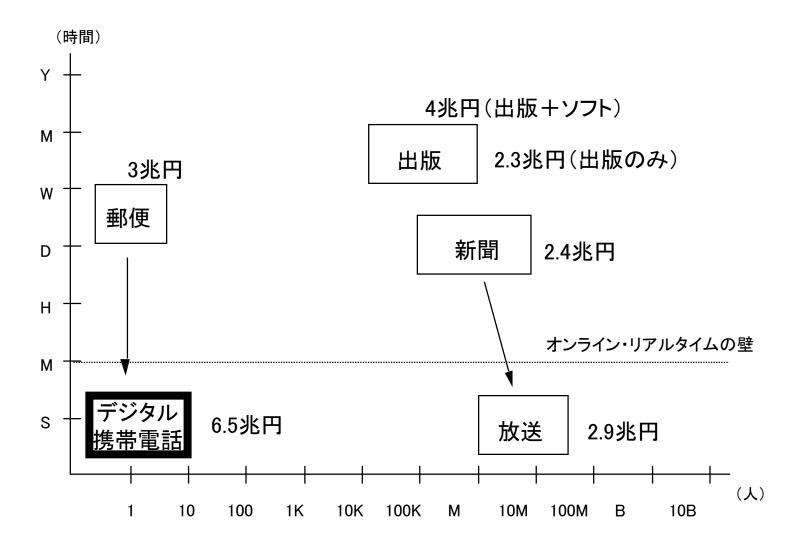
20世紀中期の5大メディア



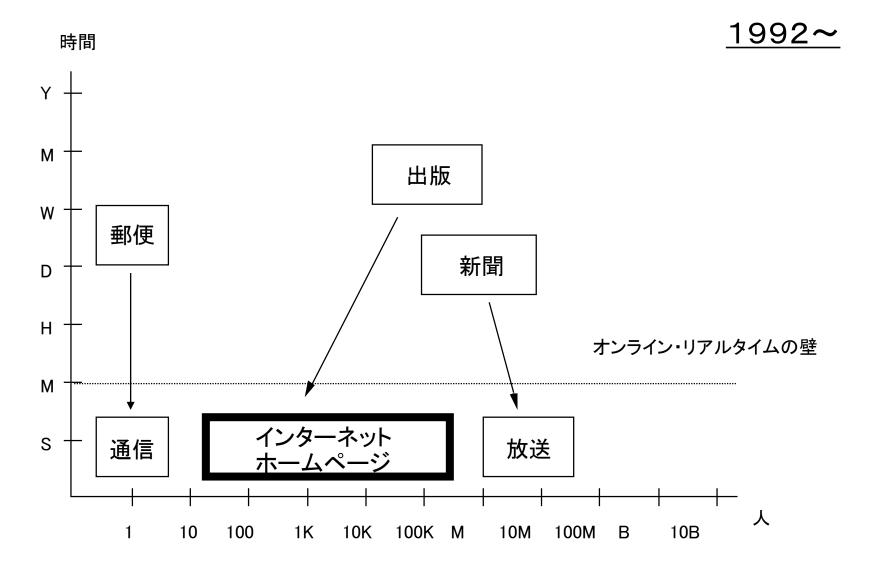
20世紀のアナログ電話とアナログテレビ

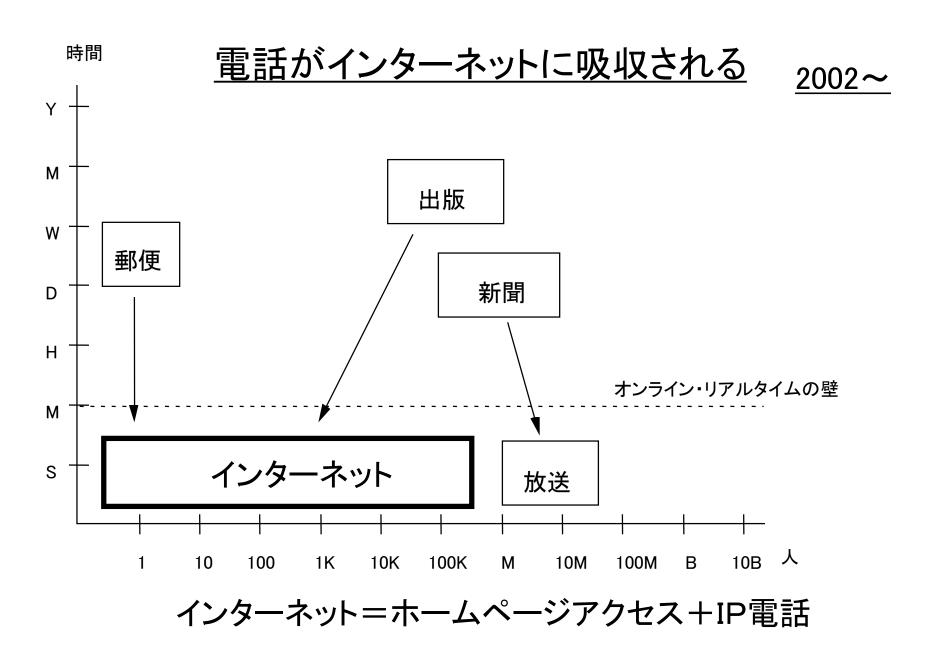


電話のデジタル化

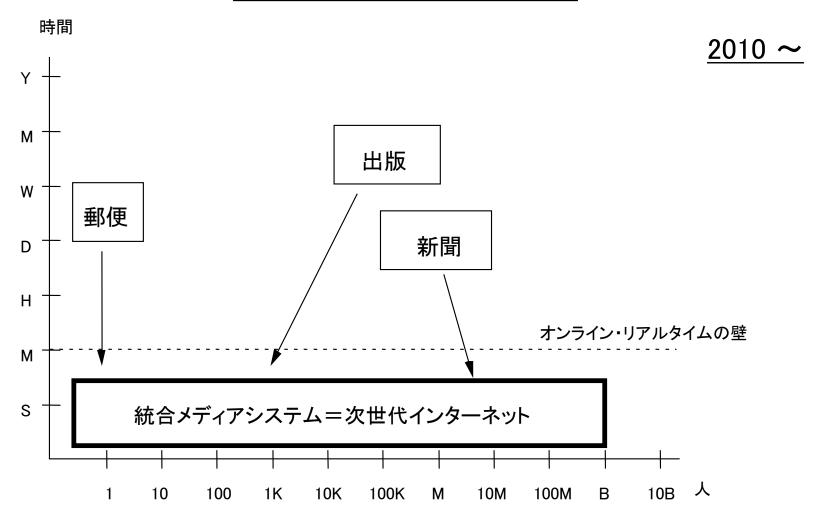


インターネットの出現



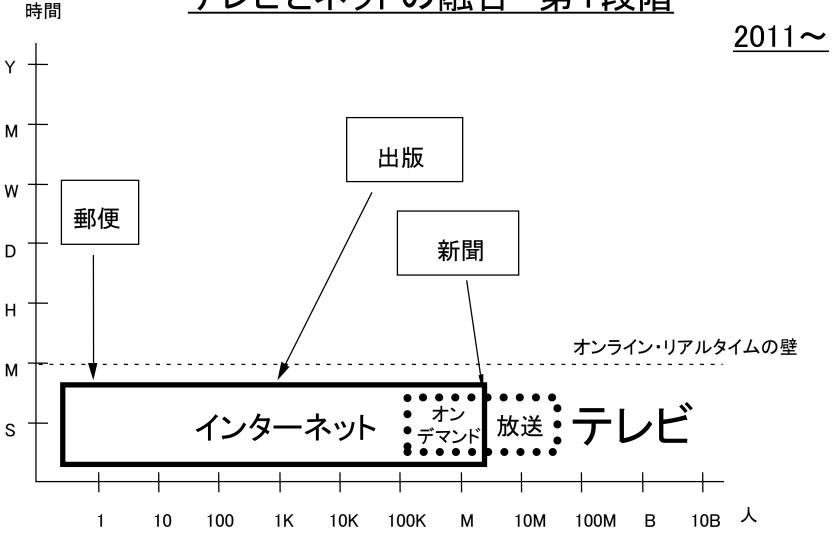


予測メディアマップ(3)



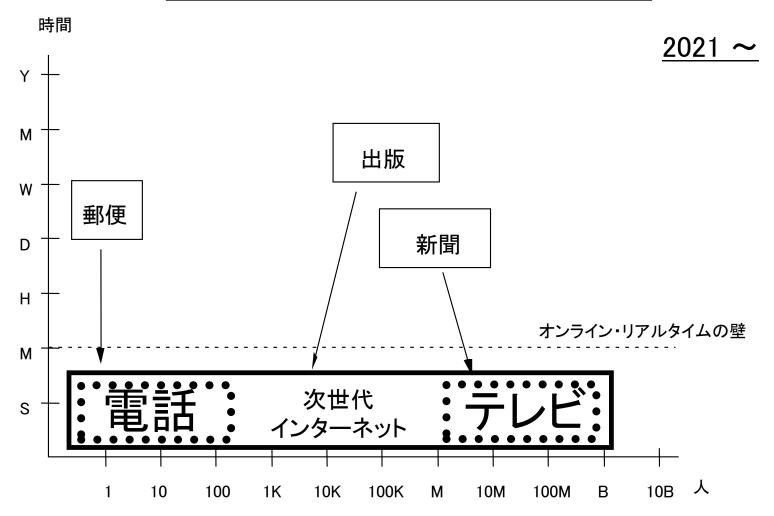
すべてがインターネット上にのる日が来る

テレビとネットの融合 第1段階



テレビ=デジタル放送十ホームページアクセス

テレビとネットの融合 第2段階



すべてがインターネット上にのる日が来る

インターネットの上で

通信と 放送と パケット

を同時にサービスする ソフトウエアテクノロジーが鍵になる

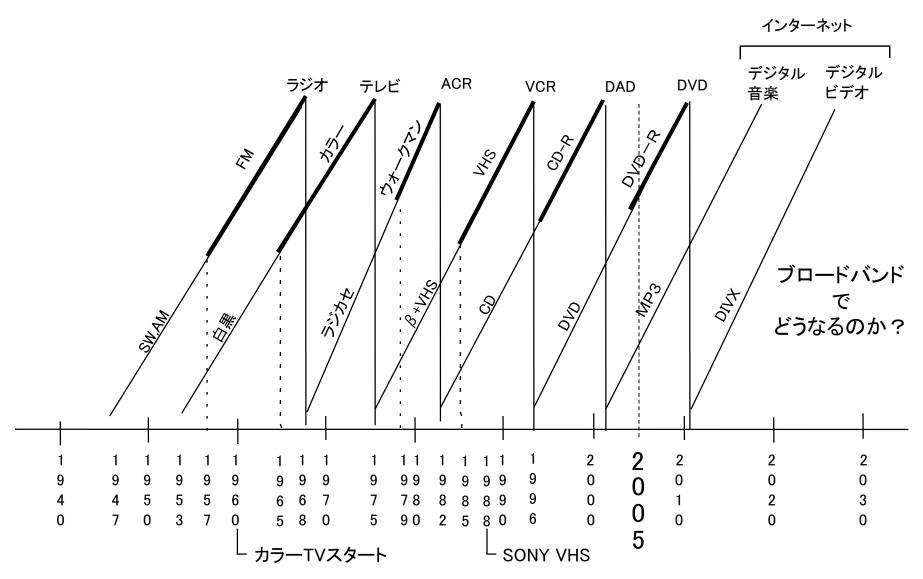
ソニーの50年の歴史と5大商品群

1946-1996

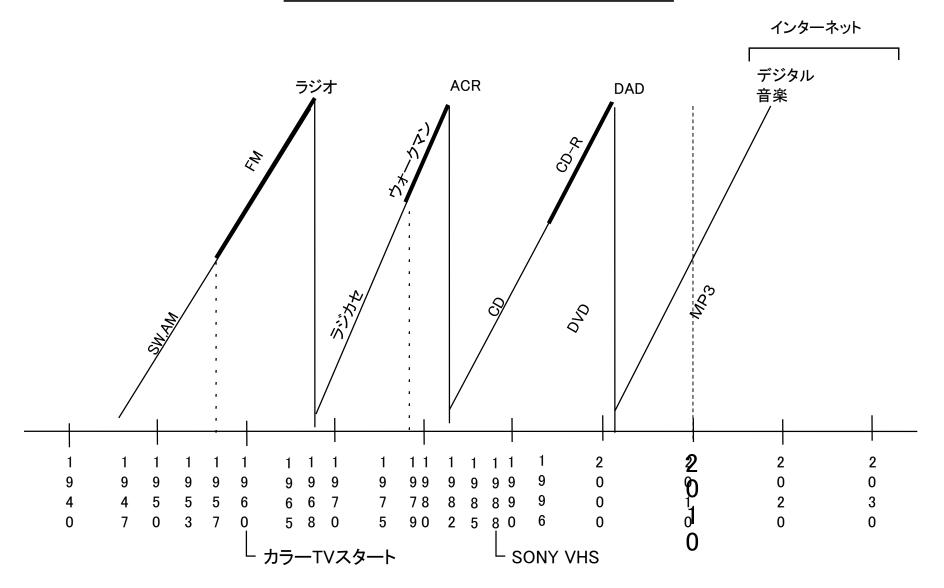
1947 ラジオ	トランジスタラジオ	アナログ
1956 <u>テレビ</u>	トリニトロン	<i>)</i> 放送
1964 オーディオカセット	ウォークマン	アナログ 磁気テープ
1975 <u>ビデオカセット</u>	ベータマックス(VHS)	一次 気 テーノ
1983 デジタルオーディオディスク	コンパクトディスク(CD)	デジタル 光ディスク
1996 デジタルビデオディスク	DVD	

家電の次の大事業は「デジタルビデオ光ディスク」関連

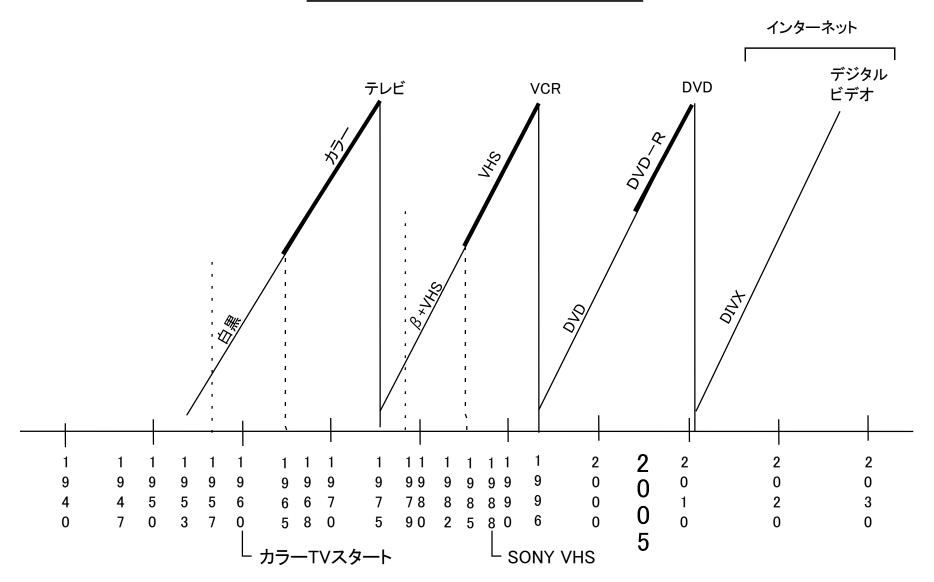
<u>メディアウェーブ</u>



<u>オーディオのメディアウェーブ</u>



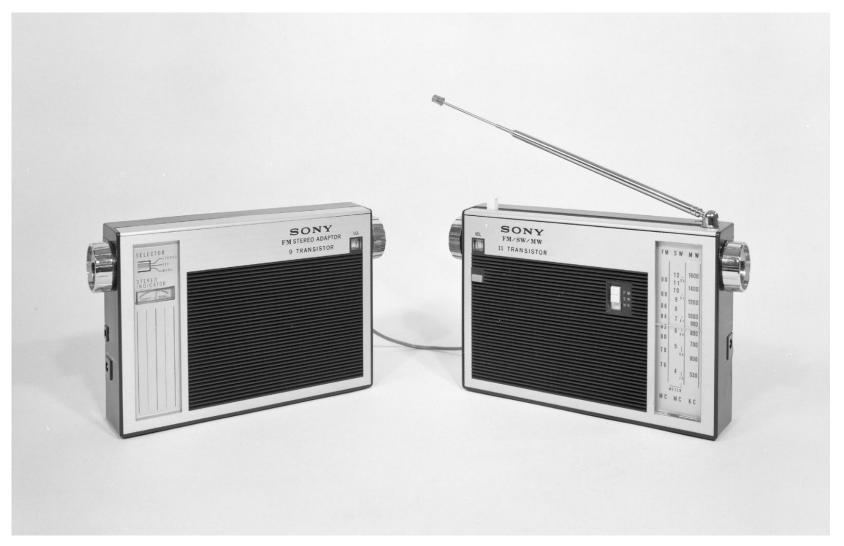
ビデオのメディアウェーブ



<u>SONY TR-63 ニュース</u>



<u>TFM-101 ステレオ音楽</u>



ラジカセ ステレオ音楽録音



ウオークマン 1号機 音楽テープ



<u>D50</u>



パソコンとCDーR



アップルIPOD



iPhone



<u>白黒TV</u>

・東芝



カラーTVトリニトロン カラー映画



ベータ SL-8300 映画録画



VHS SLV7 映画VHSテープ



東芝 DVD1号機 SD 3000 映画DVD



東芝DVDR—HDD 1号機 テレビのDVD化



2K IPTV

セットトップ/デジタルTV



2013





インターネット直接接続が必須

ITUによる国際規格

情報家電/ゲーム機のこれから

家庭用ゲーム機は

ゲームもでき、

教育用にも使用でき、

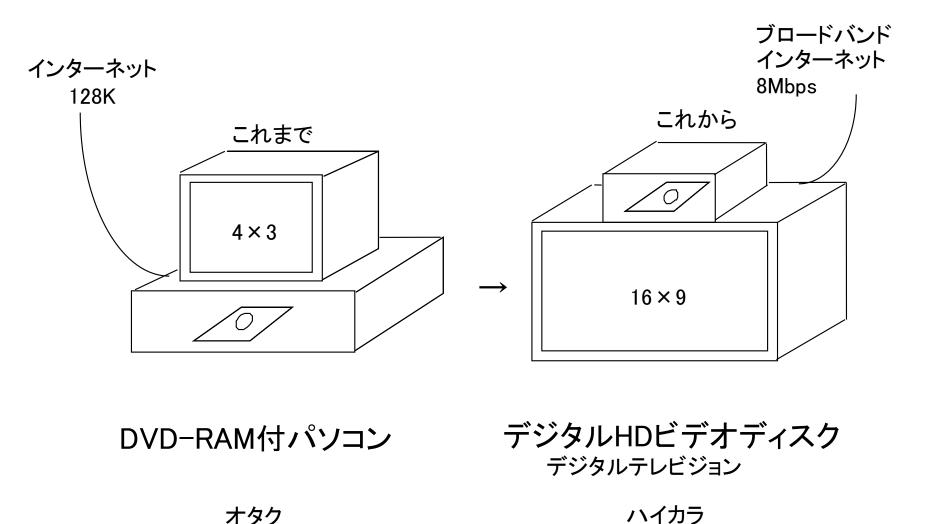
音楽など

およそ使うユーザー層にとって

- 1. この1台で何でもできるハードであること
- 2. 小型であること
- 3. 質がよいこと

が必須条件である

パソコンとゲーム機、実は中身は同じ



オタク

4KBD,2KBD,DVD,CDプレーヤーとゲーム機が合体した



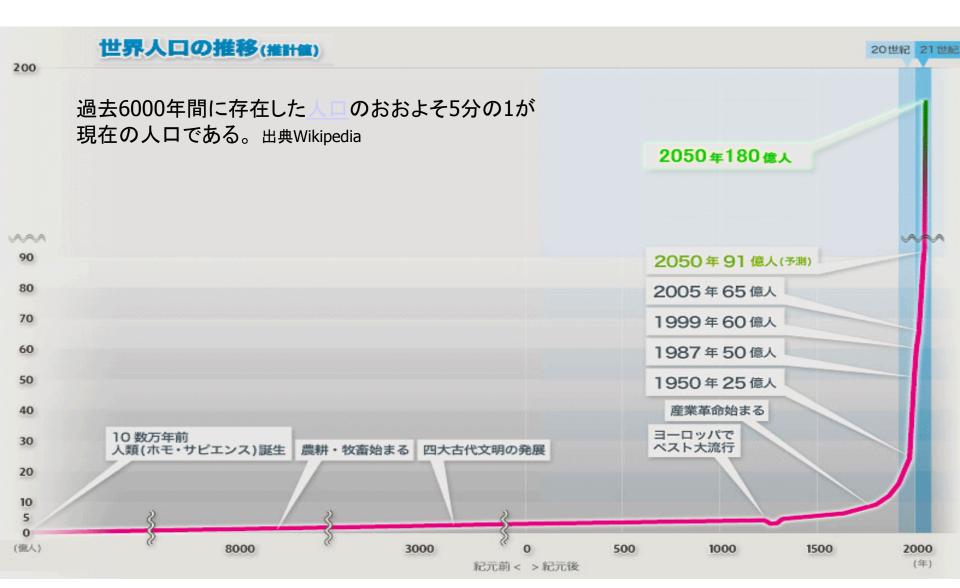
次世代デジタルビデオディスクプレーヤ は 世界的な情報ネットワークでつながる

電話機 と 電話の通信ネットワーク テレビ と テレビの放送ネットワーク BD-R-R と インターネット

<u>約25年で世界の半分をカバー</u> 30億人

21世紀は どうなるのか

人口の推移



20世紀の主要産業

機械化、重工業化、モータリジェーション、情報化

- •エネルギー産業
- •化学•医療産業
- ●航空産業
- •自動車産業
- •家電産業
- •メディア・エンターテイメント産業
- •コンピュータ産業
- •(ハード、ソフトウェア)産業
- •金融産業
- •教育産業

経済圏の拡大

スピードが上がれば上がるほどエネルギー消費量は増えて行く

人が歩く、走る 馬車 クル幹線 飛行機 戦闘船 半部

重力から逃れようとする力に、どれだけエネルギーが必要か。 そのため経済圏を拡大しようとすればするほど化石エネルギー消費量が膨大に増えて環境問 題や地球温暖化などの問題を引き起こす原因となってきた。

テクノロジーの進化

ハード、ソフトウェア、プラットフォーム

Browser



Social Graph

Feed

HTML5.0

音声認識

iPhone

XML

Perl



Java

Android

Payson

Web

Windows

センサー

Saas

ハードディスク

FeliCa

Linux

EC2

GPS

GPU

Ruby on Rails

Apatch Search

少モリ

C++

Cloud Computing

Objective-C

論点

インターネットとパソコンで 全人類が知識を共有すること が出来るようになりつつある現在、

残された課題は何か、

このメディアを、世界と自分のために役立てる ための必要十分条件とは何か について考えてみたい

21世紀の予想

- グローバルな社会になる
 - 英米語の国際語化
 - 情報通信の普遍化
 - 通貨の国際化
 - 特定の分野におけるナショナリズムの台頭 芸術、文化、歴史
- グローバルな経済戦争が続く
 - ・ドルとユーロ
 - アメリカは日本、中国に国債を買わせ続ける
 - 中国の国民は 土地、株で大損をし、次は国営ギャンブル???
- グローバルな武力戦争も続く
 - アメリカとアラブ・イスラム、
 - EUとロシア、
 - イスラエルとパレスチナ
 - 中国とインド

21世紀の新産業

20世紀型産業に化石エネルギーだけでなく、情報エネルギーを掛け 合わせた産業

- ●エネルギー産業 → 新エネルギー産業
- ●化学・医療産業 → バイオ、ゲノム産業
- ●航空産業 → 情報航空産業
- ●自動車産業 → 情報自動車産業
- ●家電産業 → 情報家電産業
- ●メディア・エンターテイメント産業 → グローバルメディア
- •コンピュータ産業 → インターネット・ウェブ産業
- •(ハード、ソフトウェア)産業
- ●情報金融産業 → 仮想金融産業(App Store/Android)
- ●教育産業 → コラボレーション教育産業

お客様のNEEDS、WANTS と メーカーのイノベーション の 未来

- これがベストなマッチングをすると 商品は売れて、ビジネスは成功する
- 車、テレビ、パソコン、その他

イノベーションより大切なこと

お客様の求めるもの ↓ギャップが生まれる メーカーの作るもの

これをどう縮めるかが問題である

先端会社に見られること

- ・自分の会社は一番と思いこむ
- 自分の好きにする
- 自分で決める
- お客を無視
- ・お客の嗜好が判らない
- ・お客の購買条件が判らない

典型的な例

- Coca Cola
- Intel
- Microsoft
- SONY
- Xerox
- GM-TOYOTA
- JAL

さらに

- 感覚がずれている
 - それを修正するために
 - 宣伝費をかけて PUSH

・ それが 反対に逆の効果を生む

創造性

未来に対する感性

この感性を磨くには

現在に対する感性を磨くことから生まれる

現在の感性を磨くには

「感動=inspiration」が大切

創造的であるということ

- ただ、単に造ることではなく、
- 売れるものを創ること
- 何が売れるかがわかること
- 未来がわかること
- 今が判ること

エンジニアのするべきこと

- ・常に自分からユーザーの立場に近づく
 - 町に出る
- ユーザーの求めているものを分析する
 - ユーザーのWANTSを学ぶセミナーに行く
- 常に自分の感覚を、ユーザーに近くする
 - ユーザーに触れる時間を長く持つ

日本はいずれも

おそろしいほど時代遅れ! 教育、メディア 企業、組織のあり方

ネットソサエティ化が進めば進むほど 日本の競争力はますます低下するだろう。 情報生産の道具はパソコン 情報消費の道具はスマホ パソコンとスマホは共存する しかし、時間が経つと両者は一体化するだろう

「ITを使う教育 = ITリテラシー」と 「ITを創る教育」 について考えるべき

私の60からのテーマ